

宮本たかしを育てる会 NEWS

宮本たかしを
育てる会ニュース
創刊号

宮本 たかしを育てる会

〒915-0841 福井県越前市文京二丁目15-5
電話
ファックス **0778-22-6633**



宮本たかしからの 感謝の気持ちと 会報の創刊にあたって



育てる会会員の皆様。新人で何の実績もない私に対して、心からの暖かいご支援ありがとうございました。初めての経験で本当に心細い活動の中、めげそうになった時も数え切れないくらいありました。でもそんなときになんとか自分を奮い立たせ、がんばることができたのも皆様からの「がんばって!」「応援してます!」のお声や、支援の輪を広げるために私以上に努力していただいた皆様の活動のおかげだと思っています。心の底から感謝しています。ほんとうにありがとうございました。

現在、6月議会をなんとか終わらせることができましたが、息つく暇もなく参議員選挙のお手伝いと忙しい日々を送っておりますが、何とか元気にやっていますのでご安心ください。なかなか、普段皆様とコミュニケーションがとれず申し訳なく感じておりましたが、皆様と私をつなぐせめてもの絆になればとこの「育てる会News」を創刊するに至りました。今後も議会終了後などに定期的に発行させていただきたいと考えていますので、皆様の下へ届いた時には、今、宮本はどんな状況なんだ? と読んでいただけたら幸いです。皆様の応援があって初めて宮本俊の政治家としての活動が成り立ちます。今後ともどうかご指導、ご鞭撻、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

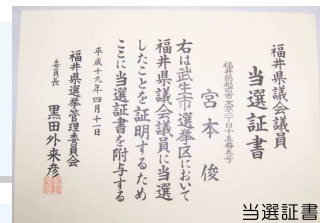
平成19年7月24日 宮本 俊

トピックス

ここでは、4月の初当選以降の宮本俊の活動についてのトピックスを紹介いたします。

☆4月11日：当選証書授与式

新人11人を含む40人の当選議員が初めて一同に会し、当選証書の授与が行われました。彼らしくもなくとても緊張して、自分の席から選挙管理委員長の前まで歩くときにひざが震えていたのを覚えているそうです。



当選証書

☆4月20日：福井テレビ「タイムリーふくい」出演

“新人議員抱負を語る”ということで、今回初当選を勝ち得た鯖江以南の新人県議会議員、宮本俊を含む6人が出演しました。県議としてどんな活動をしていきたいかという点について、宮本俊は選挙の際に掲げた政策にもとづいて熱く語りました。

☆5月1日：徽章交付式/初登庁

徽章（きしょう）、いわゆる議員バッジが頂ける日です。バッジを付けようが付けまいが政治家として襟を正し、しっかりとした活動を行なうべきことは当然なのですが、人間とは不思議なもので、やはりこのバッジの重みはズッシリと来たようです。今までの決意を新たに、政治家、宮本俊のスタートとなりました。



徽章の交付を受ける宮本俊

☆5月9日：臨時議会

いわゆる組織議会と呼ばれる議会で、6月の定例議会に向け議長、副議長人事や各常任委員会（総務・教育/厚生/産業/土木警察）の委員長、および委員が決まりました。議長には敦賀市選挙区から石川与三吉氏が、副議長に小浜市遠敷郡選出の中川平一氏が選ばれました。ちなみに中川議員は元知事の中川平太夫氏のご子息です。

☆6月22日：6月定例議会

はじめての定例議会です。宮本俊が行った一般質問での質問の内容については裏面に・・・

議会活動

☆一般質問

定例議会としては初体験となる6月議会において、一般質問を行いました。一般質問とは会派を代表して行う代表質問と異なり、議員個人として理事者に対する質問を通してそのチェック機能を果たしたり、提案を行っていくものです。質問内容と理事者答弁の主なものは以下の通りです。



知事の政治姿勢について

県はその政策マネジメントシステムの中で、子育て支援に代表されるような施策項目に対してそれぞれ目標を設定している。しかし、直接的に実際の県民益（県民満足度）を目標にしたものは少なく、目標達成の為の手段を目標にしているケースが多い。このことが、目標が達成されても県民の実感としてそれが感じられない理由のひとつとなっていると考えられるが所見を伺う。という質問に対し知事はマーケティングの手法を用い、アンケートなどから実際の県民益、CS（顧客満足度）を追跡してその事業の成果としたいという答弁がありました。

親力の向上について

幼児虐待に代表されるような子育て上の問題は親力の低下に起因している。県は親力の向上のため、出前講座を実施するなどの施策を行っているが、本当の問題点はこういった講座に参加する意識もなく、子育て、教育に興味のない親に対しどういったアプローチができるかだと考えるが、こういった興味のない親への教育プログラムをどのように考えているか。という質問に対して教育長からはこういった親への支援が容易に広がりにくい点を認めながらも講座回数の増加、インターネットの活用など手の届きにくい親への働きかけに努めるという答弁を受けました。

地域格差について

一般的な県民の利用対象となる県立施設が越前市に2箇所しかない現実を踏まえ、市町の振興についての方向性を質問、総務部長より、越前市の中心市街地活性化の問題のように、今まで以上に市町と県が連携・協力して推進してゆくべき施策が増えているとの答えがあり、協働での地域問題の解決の必要性についての言及がありました。

○…一般質問初日は登壇した県議九人のうち六人が新人。「エネルギー研究開発拠点化計画を農業に生かさないか（宇野秀俊議員）」「御廊下橋を建設するにしても、まずまちづくりのビジョンを示すべき」（大森哲男議員）「など、それぞれが得意の分野で理事者を

ただした。中には他会派から思わず拍手が起きる鋭い質問も。持ち時間をきっちり守り、新人の初登壇はまずまずのスタートだった。○…成果を重視した県自

慢の政策推進マネジメントシステムについてCS（顧客満足度）を重視した運用を

初登壇は及第点、先輩に刺激

○…新人の健闘ぶりに、先輩県議の一人は「私たちが新人の時は、議事を跳めていただけ、それに比べし

いとの指摘だった。西川知事は「この指摘は、私たちが教えてもらわなければならない。うかうかしていい」と気を引き締めるべしと激励した。自民系会派分裂の余波で大きく揺らぎ、各会派新人の頭張りや刺激となり、活性化につながればと思う。（加藤祐）

6/29 福井新聞

みなさんへのお願い

「宮本たかしを育てる会」では、会に入会して頂き宮本俊の政治活動を応援していただける方のご紹介をお願いしています。入会して頂いた方へは各種集会のご案内や会報を送付させて頂き、皆様の生の声を伺うことにより県政をよりよいものへと努力したいと考えています。入会頂ける方がいらっしゃいましたら電話22-6633までご連絡頂きますようお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

～宮本たかし プロフィール～

昭和39年4月13日 福井県武生市生まれ
慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
ISO14001主任審査員（福井県唯一）
（社）福井経済同友会企画幹事
「ESえちぜん」審査部副部長
社会福祉法人「陽光会」理事

産業常任委員会
行財政改革特別委員会
予算特別委員会 委員
県議会自民党 政調副会長

